

## 第129回 教育研究評議会要録

日時 平成27年6月17日（水）午後1時00分～午後2時25分  
場所 第一会議室  
出席者 今岡学長，井上理事，小路田理事，角田理事，笠井理事，  
柳澤文学部長，林井理学部長，三木生活環境学部長，中島人間文化研究科長，  
内田，野村，小林，春本，黒子，三成，出田，上江洲各評議員  
列席者 横山学長補佐，小川学長補佐，久保学長補佐，酒居監事，福田監事，  
岩阪総務・企画課長，山下情報管理活用監，小田原国際課長，西田財務課長，  
齊藤施設企画課長，藤熊学務課長，木下学生生活課長，秋庭学術情報課長

議事に先立ち，前回の記録確認。

### I 審議事項

#### 1. 学内諸規程等の改正等について

(1) 奈良女子大学日本語・日本文化研修留学生プログラム規程の一部改正（案）について

井上理事から，資料1-1により改正の趣旨及び内容について説明があり，審議の結果，原案のとおり承認し，本日付けで施行することとした。

(2) 理系女性教育開発共同機構設置に伴う学内規程の整備について

笠井理事から，資料1-2により改正の趣旨及び内容について説明があり，審議の結果，原案のとおり承認し，本日付けで施行，平成27年4月1日から適用することとした。なお，部局を規定する表現の整合性については，制定当初の経緯を確認することも含め，今後検討を行うことを確認した。

#### 2. 平成26事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

小路田理事から，平成26事業年度に係る業務の実績に関する報告書について，資料2のとおり作成した旨説明があり，審議の結果，原案のとおり承認し，経営協議会，役員会へ提案することとした。

#### 3. 第3期中期目標・中期計画について

小路田理事から，第3期中期目標・中期計画について，資料3のとおり素案を作成し，文部科学省から修正を求められる可能性があるため所要の修正を行うことも含めて，承認願いたいとの説明があった。審議の結果，さらに表現の調整を行うべき箇所があることを確認した上でこれを承認し，経営協議会，役員会へ提案することとした。

#### 4. 海外大学との合意書の締結について

井上理事から、資料4-1から4-3により説明があり、審議の結果、これを承認し、締結手続きを進めることとした。

#### 5. 平成28年度学年暦について

学務課長から、平成28年度奈良女子大学学年暦について資料5により説明があり、参考としてお茶の水女子大学及び共同専攻の各学年暦についても提示があった。審議の結果、奈良女子大学学年暦を原案のとおり承認した。

#### 6. その他

特になし。

## II 報告事項

#### 1. 第155回役員会について

学長から、5月22日に開催された第155回役員会の審議概要について報告があった。

#### 2. 国立大学協会通常総会について

学長から、6月15日に開催された国立大学協会通常総会について、資料6により報告があった。なお、国立大学の将来ビジョンに関するアクションプラン（中間まとめ）概要は、現在公表に向け準備中であるため未確定の内容であるとのことだった。

#### 3. 生活環境学部規程及び生活環境学部教授会規則の一部改正について

生活環境学部長から、資料7-1から7-2により、生活環境学部教授会の議を経て改正された生活環境学部規程及び生活環境学部教授会規則について、報告があった。

#### 4. 平成28年度施設整備費補助金等概算要求について

笠井理事から、資料8により報告があった。

#### 5. 各室からの報告について

広報企画室：

入試広報活動の充実として、昨年度から予備校を会場として実施している入試説明会について、今年度は高校を会場として実施し、松山及び高松の2か所で計100名超の参加があった旨、報告があり、今後も各部局の協力について依頼があった。

記念館運営委員会：

記念館改修後の利用基準について、無償から有償への見直しを検討しており、各部局において教授会で運営委員から意見を求める予定である旨、報告があった。

学術情報センター運営委員会：

学術情報センター改修工事のため8月6日から一部閉館予定であること，また改修に関して要望があれば運営委員に寄せるよう，教授会で委員から周知予定である旨，報告があった。

## 6. その他

学長から，6月16日に開催された国立大学法人学長・大学共同利用機関法人機構長等会議での下村文部科学大臣の発言内容等について報告があった。国歌斉唱及び国旗掲揚については，各大学で適正に判断するようとのこと，人文社会科学系学部・大学院の見直しについては，どのように国に役立っているかを打ち出す必要があるとの趣旨と理解したとの説明があった。なお，人文社会科学系の件について，学生も含めた学内的な意思疎通や意見交換，受験生も含めた対外的なアピールの必要性について意見があった。

以上